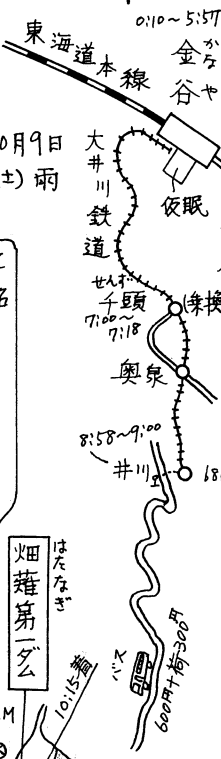


51.10.8夜
名古屋駅
普通 21:32 乗車
金谷駅待合所
で朝まで仮眠
至 東京 静岡



バスは15分遅れて
10:15到着。20数名
の登山者、食事や
準備を完了しては
パーティーとなって、山
へ入って行く。
10月8日午後より降
り出した雨は今日
一ぱい降り見込
み、気温15℃、風
が無いので助かる。

南アルプス 雨の林道
歩きから始る 紀行文
を思い出しながら、明
日を期待し、明後日
に希望を抱いて、
ポンチョにゴウリ傘ス
タイルでせせと歩く。

広い林道、昨年と変
らないエメラルドグリー
ンの畑薙湖の水面を
左にキラキラ眺めながら
大きくゆるる湖岸を……
榎島へ

どの沢も急流を集めて、激し
い水音を轟かせている。森林は
ガスに包まれ、ボーンと霞んで、
日本画の墨絵のようだ。
その間々に秋の黄葉が雨に
濡れて、この秋の最終美を
飾ろうと、その変身振りをきわ
めたせている。

2時間15分で右へ下る中ノ道
がある分岐に着く。ここが中ノ宿
で、大きな広場にテント張り
が寂しく見える。中の宿の建物が
ずと奥にひれ伏すように静ま
りがあって並んでいる。

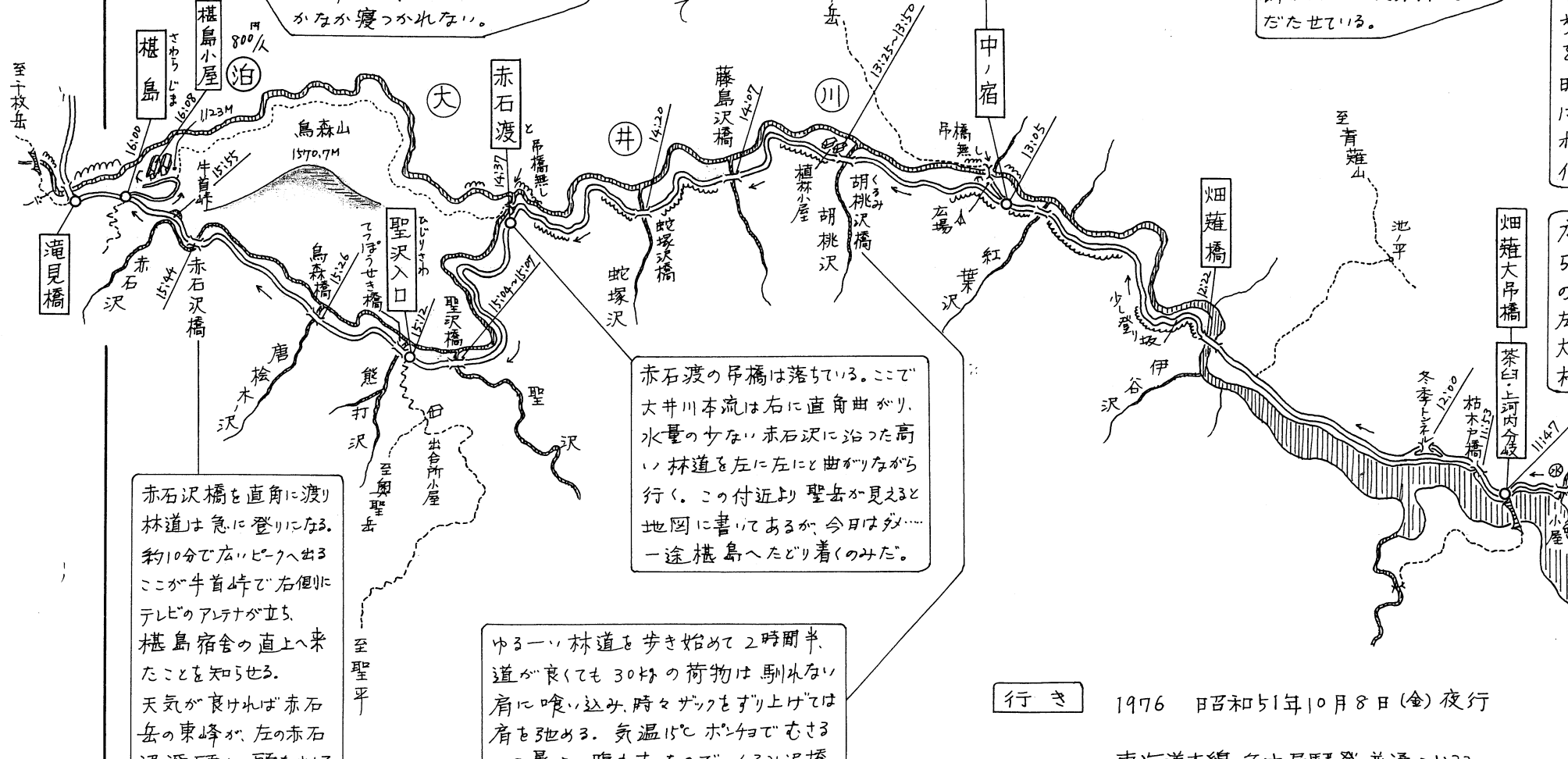
秋雨に霞み、濡れし
紅葉の間々、山々
紅葉目立ちて

赤石渡の吊橋は落ちている。ここで
大井川本流は右に直角曲がり、
水量の少ない赤石沢に沿った高
い林道を左に左にと曲がりながら
行く。この付近より聖岳が見え、
地図に書いてあるが、今日はダメ……
一途榎島へたどり着くのみだ。

ゆるーい林道を歩き始めて2時間半。
道が良くても30kgの荷物は、馴れない
肩に喰い込み、時々ザックをずり上げては
肩を弛める。気温15℃、ポンチョでむさる
この暑さ、腹もすいたので、くろみ沢橋
を渡った右側にある植林小屋を借りて
2度目の昼食をする。こんな日にマイカーで
釣りに入っている人もあり。

榎島の宿泊者は18名、それぞれストーブの周りで
夕食の炊飯、中でも11時から来ているという余裕
シヤクシヤク、にこやかなお嬢さん二人、宿泊者名
簿をソーツと見れば、狛江市の山本さんと国崎さん
(自動車と予約チャーターしての要領拔群さん。)
我々の登山第一夜は、決してスキ焼きだ。肉300g
系コン、野菜調味料を入れて沢山つくる。電灯、
持参の酒を飲みながら、明日の天気と信じよう。
ストーブに集って、みんなと山の話しながら楽しむ。
8時半過ぎ、シュラフにもぐるが、な
かなか寝つかれない。

赤石沢橋を直角に渡り
林道は急に登りになる。
約10分で大井川へ出る
ここが牛首峠で、右側に
テレビのアテナが立ち、
榎島宿舎の直上へ来
たことを知らせる。
天気が良ければ、赤石
岳の東峰が、左の赤石
沢源頭に頭を出して
見せてくれるが、雨で残念だ。



行き

1976 昭和51年10月8日(金) 夜行

東海道本線 名古屋駅発 普通 21:32
金谷駅着 10月9日 0:10 朝まで待合室で仮眠
大井川鉄道 金谷駅発 5:57 → 井川着 8:58
バス 井川駅前発 9:00 畑薙第一ダム 10:00着

登山者

谷田 幹夫 57.11.16 (乗具出発時30kg)
奥村 光信 T14.3.20 (" " 28")